

きらり いわた 人



「現代の名工」に認定

やました まさひろ
山下 正博さん

1962年生まれ
磐田市和口在住。
体を動かすことが好き。休みの日は、
息子のサッカー応援や仲間とバレー
をして過ごしている。

厚

生労働省では卓越した技能者を、現代の名工として認定しています。今回のきらりいわた人は、昨年、現代の名工に認定された山下正博さんです。山下さんは昭和56年に日本楽器製造（現ヤマハ）に入社後、切削技術部門で36年間、ピアノなどの楽器の材料となる木材を加工するための木工刃物の設計・製造をしています。

現代の名工に認定された感想は？

社内外問わず周囲の皆さんの支えがあったということ、入社してからさまざまな分野でたくさん先輩や同僚に出会えたこと、それが一番の要因だと思います。

今の仕事を始めたきっかけは？

中学・高校とバレー部に所属していて、高校卒業後にバレー部のあるヤマハに入りました。高校では機械科にいましたが、楽器を演奏したこともありませんでした。配属されたからは、この道一筋で腕を磨いてきました。

仕事で気を付けていることは？

切削加工で不良が発生すると生産が止まってしまうため、生産の流れを止めないように神経を使っています。また、刃物を取り扱う職場なので、安全には十分に気を付けています。

仕事の魅力や楽しいことは？

工具の設計から製造までやっているの、考えたものが形になるのは楽しいですね。生産職場では、より良い音が出るように部品を加工し直したり、製造までの過程を短くするために新たに設計したりしています。楽器を使った人から「音が良くなったよ」と言ってもらえるのが一番うれしいですね。

海外に行くこともあるそうですね？

海外工場でも工具を製造していますが、日本でしか作れない工具があります。現地でもトラブルが生じた際は、状況も確認しにくいため、実際に現地に行つて工具のメンテナンスをしたり、現地スタッフに工具製造の手順を指導したりすることもあります。

これからの目標は？

社内でシニアマイスターという肩書きを与えられています。職場の管理を行うだけでなく、国内外を問わず後進の育成を行っていききたいです。

磐田の子どもたちに一言

自分がこれまで地道に頑張ってきた仕事が評価されてうれしかったので、皆さんも何でも良いので一つのことを、地道にこつこつと積み重ねていってほしいです。